



## 第6回理事会

**日時** 平成24年2月4日（土）16：00～18：48  
**場所** 北海道医師会館9階理事会室  
**出席者** 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・三戸・目黒・深澤・直江・前川・水谷・山科・岡部・伊藤各常任理事、山光・島田・伊藤・津田・沖・倉増・山下・古屋・堀・杉元各理事、水元・中村・大口各監事、塩野議長、島田日医裁定委員、増田日医委員  
 （事務局：島影事務局長ほか13名）

### 1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 報告事項

#### (1) 監査報告

（内部監査：大口監事、外部監査：水元監事）

#### (2) 第2回都道府県医師会長協議会〔1月17日（火）〕について（三宅副会長）

国際戦略総合特区申請にみる治験・臨床研究ならびに先制医療推進の問題点、国民皆保険体制維持へのアピールについて、消費税対策について、病床再編について、定款・諸規程改定検討委員会答申について、「総合医とかかりつけ医」「総合診療医」の語句の定義について等10題の協議があった。詳細は日医ニュース等を参照願いたい。

#### (3) 民主党・北海道医師会医療に係わる政策懇談会〔1月28日（土）〕について（直江常任理事）

当会からの働きかけにより、民主党道連・荒井代表ほか道内選出国会議員との懇談会が開催された。担当役員より消費税、医療安全調査委員会、TPP、特定看護師等について問題点を説明し、各項目に対して意見交換が行われた。

#### (4) 日医理事会報告（長瀬会長）

第126回日医定例代議員会ならびに日医定例総会の件について等の協議があり、詳細に関しては、すでに日医速報で報じているのでそちらを参照願いたい。なお、事前の打合せ会にて、

消費税率引き上げへの対応について等意見を交換した。また、1月20日には日医医療政策会議があり、会長諮問「医療を営利産業化していいののか」に対する報告書を原中会長に提出した。

#### (5) 日医裁定委員会について（島田日医裁定委員）

本委員会の過去2期4年間の活動状況や、最近当職が座長となって問題解決に務めている事案について報告した。

#### (6) 日医各委員会報告

##### 1) 国際保健検討委員会〔7月29日（金）・2月2日（木）〕について（倉増理事）

第3回委員会（7月29日）では、東日本大震災におけるJMAT活動について報告があり、その後、会長諮問「これからの国際保健と地域医療における日本医師会の戦略」について協議した。第5回委員会（2月2日）では、引き続き答申案の検討を行った。

##### 2) 国民生活安全対策委員会ならびに健康食品安全情報システム委員会〔12月1日（木）〕について（増田委員）

国民生活安全対策委員会では、会長諮問「『国民の健康で安全な生活』の確保に向け、医師会として何をなすべきか、何ができるか。～国民が生活する上で生命・健康に脅威となる重大な事象の検証及びその対策～」について協議した。また、健康食品安全情報システム委員会では「健康食品安全情報システム」事業の判定結果について協議した。特に、春ウコンが問題視されており、報告された4例すべてにおいて肝障害があった。

##### 3) 病院委員会〔12月14日（水）〕について

（直江常任理事）

平成23年度病院委員会審議報告（案）「超高齢社会における中小病院の機能と役割について」討議した。

##### 4) 広報委員会〔12月15日（木）〕・日医ニュース編集WG〔1月19日（木）〕について

（山科常任理事）

いずれもTV会議システムにより参加した。広報委員会では、日医ニュース編集WG・日医ホームページ検討WG、それぞれの報告書（案）について協議した。次いで、日医ニュース企画案1月分について検討した。日医ニュース編集WGでは、最初に日医ニュース企画案2月分について検討した後、1月分の評価を行った。次いで、WG報告書（最終案）の内容を確認し、決定した。

##### 5) 介護保険委員会〔12月15日（木）〕について

（前川常任理事）

野中委員長から今まで提出された意見に基づいて答申書を作成する旨の説明が行われ、中川副会長、三上・葉梨・高杉・鈴木各常任

理事からそれぞれ診療報酬の同時改定に向けて各審議会・部会の協議と「厚労省と財務省」の現況について説明が行われた。急増している認知症（医療と介護）が最重要課題であり、医療と介護の連携について取りまとめ、2月末までには答申書を作成する。

6) 医師会共同利用施設検討委員会 [1月13日(金)] について (伊藤委員)

「医師会病院の医療法上の公的医療機関への位置付けに関する調査」についての中間結果報告が行われ、その後、会長諮問「地域社会に貢献する医師会共同利用施設の今後の方向性について－医療と介護の連携を見据えて－」の答申作成に向けて検討を行った。

7) 看護職員検討委員会 [1月18日(水)] について (北野常任理事)

会長諮問の「看護職員をめぐる諸課題への対応－チーム医療における看護職員のあり方について－」に対する報告書(案)について、各委員が分筆した内容の報告があり、その後、特定看護師(仮称)について議論を行った。

8) 勤務医委員会 [1月25日(水)] について (岡部常任理事)

平成24年度全国医師会勤務医部会連絡協議会の内容について検討を行ったほか、日医ニュース「勤務医のページ」メイン記事案ならびに委員会答申案について協議した。

9) 地域医療対策委員会 [1月27日(金)] について (三宅副会長)

在宅医療について野中東京都医師会長の講演があり、その後、会長諮問「国民医療を確保するための地域特性と地域連携のあり方」の答申書(案)に関する協議を行った。

10) 学校保健委員会 [2月2日(木)] について (三戸常任理事)

文部科学省担当者より、「今後の健康診断の在り方に関する調査」事業計画書、「学校における結核対策マニュアル(案)」、中学生のための放射線副読本について報告があった後、会長諮問「地域医療の一環としての学校保健活動のあり方と勤務医の参加」について協議した。

(7) その他

1) 定款等検討委員会の協議状況について (宮本副会長)

昨年度より引き続き、新公益法人制度改革に対応した当会が目指すべき法人形態と、それに基づく新たな定款および関係諸規程の協議状況について説明した。現在、日医代議員選出と道医役員改選期に係る意見を集約すべく、各郡市・医育機関医師会にアンケートを実施していることが報告され、意見交換が行

われた。

4. 承認事項

(1) 外部各委員会等委員の推薦について

(深澤常任理事)

北海道保健福祉部から依頼のあった「北海道医療安全推進協議会委員(任期2年)」に水谷常任理事を、「北海道後発医薬品安心使用協議会委員(任期2年)」に三宅副会長と橋本常任理事を、「北海道DMAT連絡協議会検討ワーキンググループ委員(任期1年)」に目黒常任理事をそれぞれ推薦することを承認決定。

5. 協議事項

第1号 平成23年度一般会計収支予算の補正に関する件 (深澤常任理事)

第2号 平成23年度収益事業特別会計収支予算の補正に関する件 (深澤常任理事)

平成23年度の一般会計ならびに収益事業特別会計の補正予算(案)を承認決定。

第3号 平成24年度基本的活動方針に関する件

(三宅副会長)

平成24年度の事業項目を盛り込んだ基本的活動方針(案)を一部修正のうえ承認決定。

第4号 平成24年度一般会計収支予算に関する件

(深澤常任理事)

第5号 平成24年度救急医療対策費特別会計収支予算に関する件 (深澤常任理事)

第6号 平成24年度収益事業特別会計収支予算に関する件 (深澤常任理事)

平成24年度の一般会計ほか2特別会計の予算(案)を承認決定。

第7号 第137回北海道医師会定時代議員会の開催に関する件 (深澤常任理事)

第137回北海道医師会定時代議員会を3月11日(日)午前10時から北海道医師会館8階会議室において開催することで提出議題を決定。

第8号 平成24年北海道医師会定時総会の開催に関する件 (深澤常任理事)

平成24年定時総会を3月11日(日)午後2時30分から北海道医師会館8階会議室において開催することで提出議題を決定。

第9号 平成23年度道医会費減免追加申請に関する件 (深澤常任理事)

道医会費減免申請者 研修医1名 免除額4,000円の減免を承認決定。

第10号 役員会務分担の一部変更に関する件

(長瀬会長)

北海道医師会役員会務分担規程の一部改正に伴い、次年度より新設された地域医療部の管掌に宮本副会長、部長に北野常任理事、副部長に伊藤常任理事、部員に三戸常任理事を、また医療関連事業部は部長に藤井常任理事、副部長に北野常任理事、部員に岡部常任理事と決定。

## 第11号 北海道医師会職制の一部改正に関する件 (深澤常任理事)

北海道医師会役員会務分担規程の一部改正に伴い、新設された「地域医療部」は事業第二課が担当し、また事務上の効率を考慮して、事業第四課が担当している「地域保健部」を事業第三課が、事業第三課が担当している「学術部」を事業第四課が担当することとし、本年4月1日から施行することと決定。

## 第12号 北海道医師会旅費規程の一部改正に関する件 (深澤常任理事)

JRの急行料金の廃止、特急料金の適用範囲の拡大、航空機による道内出張の拡大と道外出張における日数の短縮等、現状に即したものに改めることとし、本年4月1日から施行することと決定。

## 第13号 北海道医師会文書取扱規程の制定に関する件 (深澤常任理事)

前回理事会で再審議となっていた標記規程に、新たに「文書の開示」を第11条に加え、第12条の「文書の持ち出し等の禁止」の条文の文言を一部修正の上、本年4月1日から施行することと決定。

## 第14号 理事提案事項

### 1) 北見市夜間急病センターについて(古屋理事)

北見市医師会古屋理事より、北見市夜間急病センターの運営に関する現況報告がなされた。

### 6. 閉 会

北海道からの委託事業として平成17年度より実施している本研修会を、北海道小児科医会の協力のもと、今年度も道内8地域で開催した。研修会の受講者は、延べ616名で過去最高となり、受講した医師には北海道知事、北海道小児科医会長、当会会長の三者連名で修了証を交付する。

### 3. かかりつけ医認知症対応力向上研修 [1月22日(日)] について(前川常任理事)

講義Ⅰ「基礎知識編」、Ⅱ「診断編」、Ⅲ「治療とケア編」、Ⅳ「連携編」があり、それぞれ札幌秀友会病院・藤原理事長、直江・北野両常任理事、札幌市保健福祉部・鎌田精神医療担当部長から講演があった。参加者は101名であった。

### 4. 北海道医療・福祉職能団体等懇談会 [1月27日(金)] について(北野常任理事)

薬剤師会、看護協会等26団体44名に出席いただき懇談会を開催した。今年度は北海道栄養士会から「道民の生活習慣病重症化予防のための連携について」、北海道鍼灸師会からは「療養費について」それぞれ話題提供の後、意見交換を行った。

### 5. 道内急病センター(診療所)連絡会 [1月28日(土)] について(目黒常任理事)

救急医療対策部会小委員会・荒川委員より北見市の一次救急医療体制について説明の後、各急病センターから運営状況と問題点について報告があり、意見交換を行った。

### 6. 救急医療研修会 [1月29日(日)] について(目黒常任理事)

杏林大学医学部救急医学教室・山口芳裕主任教授を講師に迎え「福島第一原発事故対応の教訓」をテーマに講演。医師、看護師、救急隊の計125名が参加した。

### 7. 救急医療対策部会全体会議 [1月29日(日)] について(目黒常任理事)

東日本大震災での当会の対応、日医救急災害医療対策委員会の検討状況のほか、小児救急地域医師研修事業、救急医療フォーラム等、今年度事業の実施状況について小職より報告した。その後、指定報告として「メディカルウイング研究運航事業」をテーマに、本事業の主任研究機関である札幌医科大学附属病院高度救命救急センター・丹野講師より、昨年11月から2ヵ月間実施した医療優先固定翼機による研究運航について発表があった。

また協議では、羊蹄・北見・網走各医師会の部会員から当該地域の救急医療体制の現状と課題、市民への啓発活動等について発言の後、東日本大震災での医療救護活動に関して4名の部会員より報告がなされ、意見交換を行った。

### 8. 第6回ほっかいどう健康塾 [1月29日(日)] について(藤井常任理事)

当会と読売新聞北海道支社等が主催し、北海道の後援による市民対象の講演会を札幌市内において開

## 第22回常任理事会

**日時** 平成24年2月14日(火) 18:00~20:02  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤井・深澤・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤各常任理事、水元・中村・大口各監事(事務局:島影事務局長ほか12名)

### 協議事項

#### 第1号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡邊常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座48件、道医認定生涯教育講座52件、合計100件を承認することと決定。

### 報告事項

#### 1. 平成23年度産業保健各種研修会について(小山常任理事)

当会主催の産業保健研修会(4ヵ所)ならびに産業医学基礎研修会(前期・後期を各1回)について、また郡市医師会委託のリフレッシュ研修会ならびにスキルアップ専門・実地研修(6ヵ所)について、小職より実施報告した。受講者総数は1,089名であった。

#### 2. 平成23年度小児救急地域医師研修会について(目黒常任理事)

催。「放射線の健康被害～科学的根拠の構築に向けて～」と題して独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター院長の西尾正道氏より講演が行われた。参加者は72名であった。

#### 9. 北海道産業保健活動推進協議会〔1月30日(月)〕 について(小山常任理事)

構成団体ならびに委員の一部追加を決定した後、労働局より労働安全衛生法の一部改正法案について、北海道産業保健推進センターより23年度中間報告と産業保健事業に関する最新の情報について、メンタルヘルス対策支援センターより23年度中間報告について、それぞれ話題提供があった。

#### 10. 第1回北海道地域産業保健センター運営協議会 〔1月30日(月)〕について(小山常任理事)

運営協議会規約の一部改正ならびに委員の一部追加を決定した後、22年度実績報告と23年度中間報告を行った。

#### 11. 全国メディカルコントロール協議会連絡会〔2月3日(金)・浜松市〕 について(目黒常任理事)

「東日本大震災におけるMC体制について」をテーマに5名のパネリストによるパネルディスカッションが行われ、その後「改正消防法に基づく傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準策定後の検証体制」「救急救命士の処置範囲」「ガイドライン2010」について演題発表が行われた。

#### 12. 日医師会教育協力講座セミナー「地域医療と予防接種」〔2月4日(土)〕 について(畑副会長)

「地域医療と予防接種－ワクチンがもたらす恩恵－」をテーマにセミナーが開催された。札幌医大小児科学講座・堤裕幸教授から「ワクチンで防げる疾患(VPD)の経験」、川崎医科大小児科学教室・尾内一信教授から「ワクチン新時代－ますます身近になるワクチンとその背景－」と題して講演があり、引き続きパネルディスカッションが行われた。参加者は223名であった。

#### 13. 労災三者懇談会〔2月7日(火)〕 について(深澤常任理事)

北海道労働局、北海道労災保険指定病院協会、北海道医師会の三者による標記懇談会を、今年度は北海道労災保険指定病院協会が当番幹事となり開催した。北海道労働局より労災補償業務の現況や業務上疾病の認定状況について報告がなされ、引き続き小職より「日本医師会労災・自賠責委員会答申」に基づき、労災診療費算定基準の改定要望事項、RICの問題(地方事務所の廃止と今後のRIC)、労災かくし、医療類似行為等について報告を行った。懇談では、精神障害等に係る労災認定基準と認定の流れ、会計検査院による労災診療費に係る実地検査、医師に対する労災に係る研修や診療ルールの周知、医療類似行為の問題点(柔道整復師の療養費の金額)等について意見交換を行った。

#### 14. 医師確保等提言中央行動〔2月10日(金)〕につ

#### いて(長瀬会長)

北海道医療対策協議会でまとめた『1. 医育大学の入学定員や地域枠の拡大、2. 臨床研修制度の見直し、3. 後期研修医の計画的な配置、4. 総合的な診療を行う医師の育成に対する支援、5. 社会医療法人の認定要件の拡大、6. 特定診療科に関する診療報酬の充実、7. 女性医師の就業環境の改善、8. 医師確保対策推進のための財政支援』の8項目を、高橋知事(医対協会長)はじめ委員の小職・小熊全国自治体病院協議会道支部長・高尾赤平市長・北奈井江町長・高橋本別町長・裕興部町長・道保健福祉部幹部で、鈴木民主党陳情要請対応本部本部長代理・森文部科学副大臣・辻厚生労働副大臣・他両省関係者等に提言・要請活動を行った。

#### 15. 第2回女性医師等支援相談窓口コーディネーター連絡会〔2月11日(土)〕 について

(藤井常任理事)

今年度の相談実績、子をもつ医師の就労環境整備事業(仮称)等について小職から説明し、その後質疑応答を行った。

#### 16. 医学生・研修医と語る会〔2月11日(土)〕 について(藤井常任理事)

日本医師会共催のもと、当会主催により「地域医療再生へのアクション」をメインテーマに開催した。「志を救われた泣き虫小児科医の話－地域医療再生のヒント－」と題した兵庫県立柏原病院・和久小児科部長の講演と、札幌清田整形外科病院・相木整形外科部長の「女性医師の仕事と子育て」と題した講演が行われ、その後活発にフリートークがなされた。参加者は76名であった。

#### 17. 日本医師会医療情報システム協議会〔2月11日(土)・12日(日)〕 について

(水谷・山科両常任理事)

宮城県医師会の担当により、日医会館で開催された。今回のメインテーマは「災害時に強い情報システムはどうあるべきか」で、1日目に「医師会事務局の災害時対応は大丈夫か?」「ORCAプロジェクトについて」、2日目に「東日本大震災の情報システムはどうだったか」「レセプト情報電子化による利用の功罪－光と影」をテーマとしたシンポジウムが行われた。参加者は471名(講師等関係者含む)であり、非常に活発な意見交換がなされた。次回は宮城県医師会が担当することとなった。

#### 18. 外部各委員会報告

##### (1) 道民の健康づくり推進委員会第2回地域・職域連携推進専門部会〔2月2日(木)〕 について(岡部常任理事)

特定健診・特定保健指導に係る人材育成研修会の開催結果ならびに「北海道がん対策推進条例」(原案)を含むがん対策の推進状況についての報告、受動喫煙防止対策に係る情報提供があった。その後、特定健診・特定保健指導の効

果的な取り組みと生活習慣病対策の推進について協議した。

(2) 緊急被ばく医療ネットワーク協議会 [2月2日(木)] について (目黒常任理事)

福島第一原子力発電所事故を踏まえた緊急被ばく医療の課題について協議し、その後、前年度からの検討課題であった、安定ヨウ素剤服用に関するパンフレットの作成、自衛隊機を利用した三次被ばく医療機関への搬送方法について検討した。

(3) 第1回北海道後発医薬品安心使用協議会 [2月8日(水)] について (橋本常任理事)

昨年度まで設置されていた北海道後発医薬品使用検討委員会の提言により、単に後発医薬品の使用促進を考えるのではなく、あくまで患者中心に考え、道民が後発医薬品を安心・安全に使用できることを目指すことを目的として本協議会が設置された。会長に三宅副会長、会長代理に札幌医科大学附属病院薬剤部長・宮本教授を選出。その後、各団体における後発医薬品に係る取り組みについて報告があり、後発医薬品に関するホームページによる周知、道民向けリーフレットの作成等について協議・意見交換を行った。

(4) 第2回北海道自殺対策連絡会議 [2月13日(月)] について (岡部常任理事)

北海道における自殺の現状と自殺対策の動向等について説明があった後、「自殺対策強化月間(3月)」における各構成機関の取り組み状況と24年度の取り組み予定事業について報告があった。

(5) メディカルウイング研究運航出動実績について (目黒常任理事)

北海道航空医療ネットワーク研究会(HAMN)が地域医療再生計画の中で、昨年11月15日から1月14日までの2ヵ月間実施した冬期間の医療優先固定翼機による研究運航実績は12件であった。滑走路凍結など天候の影響等によるキャンセルが多く見られ、冬期間の基地空港や安全基準のレベルアップが課題となった。

#### 道総医協関連事項

1. 地域保健専門委員会第2回循環器疾患対策小委員会 [2月9日(木)] について (水谷常任理事)

平成21年度から平成22年度にかけて実施した「脳卒中・急性心筋梗塞の急性期医療実態調査」結果の今後の活用について、また平成25年度から新たにスタートする北海道医療計画に向けての現行計画の見直し作業について報告があり、次年度の小委員会の活動について協議した。

## 第23回常任理事会

日時 平成24年2月28日(火) 18:03~20:47  
場所 北海道医師会館9階・理事会室  
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・目黒・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤各常任理事、水元・中村・大口各監事  
(事務局：島影事務局長ほか12名)

#### 協議事項

第1号 母体保護法医師指定に関する件

(深澤常任理事)

2月の審査委員会で指定「可」とされた再審1名の申請者を指定医師とすることに決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (渡邊常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座24件、道医認定生涯教育講座33件、合計57件を承認することと決定。

第3号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件 (直江常任理事)

認定要件を満たした新規14名、更新51名の申請を承認。日医へ申請することと決定。

第4号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件 (直江常任理事)

認定要件を満たした新規4名、更新8名の申請を承認。日医へ申請することと決定。

第5号 その他

・3月行事予定表に関する件 (事務局)

#### 報告事項

1. 第2回シンポジウム「会員の倫理・資質向上を目指して」 [2月15日(水)] について

(水谷常任理事)

「会員の倫理・資質向上についての日本医師会の取り組み」を会員の倫理・資質向上委員会・森岡恭彦委員長から、「大阪府医師会第21回会員意見調査」について大阪府医師会・齋田幸次理事からそれぞれ報告された後、ワークショップ形式により討論が行われた。ケーススタディとして、①判断の正常でない高齢医師、②わいせつ行為を訴えられた医師、③診療時間内に来所したのに診療を拒否した医師、の3テーマについて発表および全体討議が行われた。参加者は98名であった。

2. 日医学校保健講習会 [2月18日(土)] ならびに日医母子保健講習会 [2月19日(日)] について

(岡部常任理事)

学校保健講習会は「最近の学校健康教育行政の課題」「原子力発電所事故にかかわるリスクコミュニケーション—学校保健とのかかわりから—」の2題の講演が行われた後、「学校における感染症」をテーマとしたシンポジウムが行われ、6名の専門家からそれぞれ発表があった。

母子保健講習会は、「子ども支援日本医師会宣言の実現を目指してー6」をメインテーマに開催され、「妊娠等に関する相談窓口事業」「災害と周産期医療」の2題の講演が行われた後、「産科医療補償制度の現状と課題」をテーマとしたシンポジウムが行われ、4名の専門家からそれぞれ発表があった。

### 3. 地域産業保健センター連絡協議会 [2月19日(日)] について (畑副会長)

第33回産業保健活動推進全国会議の報告の後、地域産業保健事業の運営(中間報告を含む)について協議を行った。また、北海道産業保健推進センター事業ならびにメンタルヘルス対策支援センター事業について、各事業受託者より運営状況を含め情報提供があった。

### 4. 地域医療確保のための住民活動に関する懇談会 [2月19日(日)] について (直江常任理事)

道内各地域で地域医療を守るための組織を立ち上げ、活動を展開している4団体との懇談会を開催し、各団体から活動を始めた経緯や活動内容を伺い、意見交換を行った。

### 5. 第17回日本集団災害医学会総会・学術集会 [2月21日(火)～22日(水)・金沢市] について

(目黒常任理事)

金沢医科大学救急医学・和藤教授が学会長となり「Disaster Science」をテーマに開催された。招待講演、会長講演、東日本大震災基調講演、シンポジウム、パネルディスカッション、一般演題等が行われ、約1,400名の参加があった。今回は、平成25年1月17日(木)～19日(土)に神戸市で開催される。

### 6. 第2回母子保健対策推進委員会 [2月25日(土)] について (岡部常任理事)

津田哲哉日医委員から日医乳幼児保健検討委員会答申(案)の内容について情報提供があった後、児童虐待に関する現状報告と各種施策について山口委員(道庁子ども未来推進局医療参事)より説明があった。また、HTLV-1母子感染予防対策についても現状報告があり、種々協議を行った。

### 7. 第2回学校心臓検診推進委員会 [2月25日(土)] について (岡部常任理事)

平成23年度事業は21市町村で実施され、児童生徒の検診対象者4,442人中4,175人が受診しており、94.0%の受診率であった。また、24年度事業では、21市町村で4,233人の検診対象者が予定されている。

### 8. 臨床研修病院合同説明会 in 福岡 [2月26日(日)・福岡市] について (渡邊常任理事)

参加医学生650名、180病院の出展で、北海道ブースは7病院であった。この7病院への来場者は108名で、45名(男性35名、女性10名)からアンケート回答を得た。そのアンケート内容では、特に北海道の臨床研修病院に関心があるかという問いに対して、自然環境と北海道の地域医療に興味があるというものを含め43名が関心があると答えていた。ま

た、今後、北海道の臨床研修病院についての情報提供を希望する者が30名いた。

### 9. うつ病医療体制強化事業に係る研修会・セミナーについて (前川常任理事)

北海道医師会「うつ病・自殺予防対策事業」として実施したうつ病医療体制強化事業に関わるかかりつけ医を対象とした研修会(4ヵ所)と一般道民を対象としたセミナー(3ヵ所)の実績を報告した。

### 10. 日医理事會報告 (長瀬会長)

平成24年度日本医師会事業計画・予算の件などの協議事項があった。すでに日医速報で報じているのでそちらを参照願いたい。なお、事前の打合せ会にて、東京電力に対する原子力損害賠償について、医師国保の将来構想について、2012年度の診療報酬改定を振り返って、「社会保障・税一体改革素案」に対する日本医師会の見解について等意見を交換した。

### 11. 日医各委員会報告

#### (1) 公衆衛生・がん対策委員会 [2月9日(木)] について (畑副会長)

主に答申「特定健診、がん検診等の受診率の向上」について検討した。また、厚生労働省より次年度以降の国のがん対策について説明があった。

### 12. 外部各委員会報告

#### (1) 新たな北海道病院事業改革プラン検討委員会 第5回会議 [2月1日(水)] について

(直江常任理事)

精神科医療を担う2つの道立病院の役割・あり方について今までの意見を取りまとめた。その後、高度・専門医療を担う2病院の医療機能等、今後の対応について協議を行った。

#### (2) 北海道犯罪被害者等支援推進委員会 [2月9日(木)] について (深澤常任理事)

第二次北海道犯罪被害者等支援基本計画の取り組み状況、性犯罪被害者支援に関する検討状況について等協議した。その中で北海道犯罪被害者等総合相談窓口の設置状況、犯罪被害者等支援のための各種研修会、犯罪被害者等支援テレビCMや街頭キャンペーン等の実施状況について説明があった。また、刑法犯の件数は平成14年度に戦後最多を記録し、以後は減少傾向にあることや、性犯罪被害者の約90%近くが20歳代以下で占められており、特に13歳から19歳の被害者が多いとの報告があった。

#### (3) 北海道発達支援推進協議会・広域特別支援連携協議会合同会議 [2月15日(水)] について

(三戸常任理事)

広域特別支援連携協議会からグランドモデル地域(砂川地区2市4町)の事例報告が、北海道発達支援推進協議会から「第3期北海道障がい福祉計画」(案)と児童福祉法の改正について説明があった。その後、児童福祉法の改正に伴

う障がい児の発達支援体制、北海道発達支援推進協議会内に「発達障がい専門部会」を設置することなどについて協議した。

(4) **北海道肝炎対策協議会**〔2月15日(水)〕について(畑副会長)

北海道における肝炎対策の主な施策の実施状況とウイルス性肝炎進行防止対策医療給付事業について説明があった。また、専門医療機関(143件)の指定状況について報告があった。

(5) **北海道感染症危機管理対策協議会麻しん対策専門委員会**〔2月20日(月)〕について(三戸常任理事)

冒頭、小職が委員長に選出された。都道府県における麻しんの発生状況や予防接種状況について報告があった後、北海道における麻しん対策に関するこれからの取り組み等について協議した。

(6) **糖尿病と歯周病に関わる医科・歯科コンセンサスミーティング(仮称)世話人会**〔2月21日(火)〕について(岡部常任理事)

北海道歯科医師会主催で、当会が共催、北海道糖尿病対策推進会議・日本糖尿病学会道支部・日本糖尿病協会道支部が後援する企画。日本糖尿病学会道支部より1名、日本歯周病学会道支部より2名の講師に協力いただき、「糖尿病と歯周病に関わる医科・歯科合同シンポジウム」が3月24日(土)午前10時より札幌グランドホテルにおいて開催されることとなった。

(7) **北海道医療審議会**〔2月24日(金)〕について(長瀬会長)

会長に小職が、会長代理に三宅副会長が選出され、その後、医療法人部会および地域医療部会委員各10名の指名が行われ、了承された。報告では、部会の開催状況、今後行われる北海道医療計画の見直しおよび医療法の一部改正に伴う条例の制定についての説明がなされた。

(8) **北海道医療審議会医療法人部会**〔2月24日(金)〕について(畑副会長)

最初に部会長の選任が行われ、部会長に小職が、部会長代理に三宅副会長が選任された。その後議事に入り、今回の案件は、合併3件、医科診療所の設立19件、医科診療所の解散7件が上程され、審議の結果すべて承認された。

13. その他

(1) **民主党北海道総支部連合会「社会保障・税一体改革」学習会**〔2月25日(土)〕について(直江常任理事)

社会保障と税の一体改革調査会・柚木道義事務局長代理(衆議院議員)から社会保障改革、社会保障と税の一体改革調査会・古本伸一郎筆頭副会長(衆議院議員)から税改革の説明があり、質疑討論が行われた。参加者は約150名で

あった。

**道総医協関連事項**

1. **救急医療専門委員会救急医療情報システム検討ワーキンググループ**〔2月15日(水)〕について(目黒常任理事)

平成22年度のシステム利用状況について報告があった。その後、継続審議となっていた平日昼間における電話案内サービスの自動音声化について協議の結果、コスト削減が見込まれないこと、サービス低下が懸念されることなどから、次回更新に向けて、救急医療体制の現状を踏まえたシステム全体のあり方とともに検討していくこととなった。

2. **救急医療専門委員会**〔2月15日(水)〕について(目黒常任理事)

昨年度に引き続き二次救急医療機関のうち病院群輪番制参加医療機関を対象に実施された「軽症患者の時間外受診実態調査」の結果報告が行われた。その後、運航開始から15年が経過する北海道消防防災ヘリコプターによる救急患者搬送に関する運航基準などの見直しの必要性等について協議した。

3. **看護対策小委員会**〔2月21日(火)〕について(北野常任理事)

平成23年度新人看護職員臨床実践能力向上研修支援事業費補助金交付予定について説明を受けた。平成22年度との比較では、実施施設数は増えたが補助対象施設数は1施設減で、補助対象新人看護職員数は198名増の1,872名であった。続いて、平成22年度の本事業実績が低かったため、200床から400床までの病院を対象に調査を行った結果報告を受けた。今後の対応として、さらに周知徹底を図り、申請書類等の簡略化はできないが、申請期間を延ばすなどの工夫をし、多くの病院に実施していただくよう努めることとなった。